若疑シク覚候ハバ
我等ノ所業終候処ヲ
爾等眼ヲ開テ看ヨ

11月20日
毎月5日20日発行
第21号
購読料 1部 30円
半年分 600円
1年分1,200円（〒共）

叛旗
共産主義者同盟

発行人 川崎文人
編集人 仲代真理
発行所 東京都新宿区百人町2－197
東京バレエ劇場ビル2F
大久保プロ気付
共産主義者同盟
「叛旗」編集委員会
TEL03－362－0149
振替 東京 162856

12.10共産同政治集会
時 12月10日午後6時
所 中野公会堂

日－琉一体化路線粉砕の旗幟を鮮明にして前進せよ

永続的沖縄の苦闘に最前線で答えよ
11・19批准粉砕闘争に実力で決起

11・10沖縄ゼネスト呼応から、11・19沖縄返還協定批准阻止闘争の思想的・客観的局面は、一方での17日衆議院沖縄特別委員会での自民党の強行採決を政治過程での突機として、沖縄が依然なる無限での一日本人（二重安保）を再現し、他方で、六〇年以降の日本新左翼の苦闘の歩みが、沖縄闘争をめぐる綱領・戦略、軍事・武装の評価、課題への即応性に於いて明確な分岐、対峙の局面構造として現出するというドラスチックな試金を内包していることをわれわれにつげた。もとより既成左翼の沖縄闘争における実力性は、既成闘争における闘争の無効性として糾弾したかなる人民・大衆の不満感の永続的高揚の波動が、11・10沖縄ゼネストの爆発として噴出したかなる

首都戒厳令下、地区戦闘団半公然闘争を全面的に貫徹

11・19沖縄返還協定批准阻止闘争は、夕刻の新宿駅間に於ける強固に武装した地区戦闘団の火炎ビンの直撃によってその火蓋は切って落された。

10・17立川基地自衛隊滑走路阻止闘争から、10・21闘争、11・10沖縄ゼネスト蹶起、実力闘争において、そしてなによりも69年11月闘争での戦闘団による新宿駅の闘争の経験と年末闘争への敵十未に及ぶ火炎ビンの攻撃、そして、八時、新宿公園に集結、そして、八時、新宿公園に集結、そして、八時、新宿公園に集結

情勢の新局面とわれわれの道

共産主義者同盟政治局

本論文の展開内容
(1) 現情勢の特徴と基本的諸問題 ……前号
(2) 過渡期世界の矛盾と危機の深化 ……本号
　　―その補足―
(3) 日本に於ける政治的経済的危機の激化 ……次号
(4) 支配階級の延命策の破綻について
(5) 政治―社会闘争の中心課題と諸課題
(6) スタグフレーション下の労働戦線と党派
(7) 旧八派―反戦―全共闘の解体過程と党派―大衆戦線再編の展望

(2) 過渡期世界の矛盾と危機の深化 前号の補足

この政策の掘起こしとその後の一連的、始発的側面を解決しようとしたのであるが、これ以前のドル危機の起因は、IMF、GATT体制の崩壊にあるとしてきたことは、後者の側面の核心である国際通貨ドルの国際通貨機能としての側面の破綻にあるとしてきたことである。ニクソン新経済政策はこれを直接的に対象化したものであり、支配力強化の